



クラブ訪問

241

「先輩も後輩も気兼ねなく」

玉造中学校女子ソフトテニス部

私たち玉造中学校女子ソフトテニス部は、1年生14人、2年生8人の計22人で、火・金曜日の放課後と土曜日の午前中に学校のテニスコートで活動しています。

普段は、ストロークやサーブ、ボレーなどの基礎練習や試合形式の練習をしています。試合では長いラリーをして得た1点も、些細なミスで失う1点も同じ1点です。そのため、一つ一つのプ

レーを大切にし、ミスを減らすことを意識しながら練習しています。

現在の部員は、中学校からソフトテニスをはじめた初心者がほとんどなので、分からないことをすぐに聞ける雰囲気づくりが大切です。練習ではできるだけ先輩と後輩がペアになって、ボールとの距離感やフォームなどの技術を丁寧に教えられるようにしています。先輩へも気軽に質問できる雰囲気なので、みんなで意見を交換しながら楽しく練習できています。また、全員でボール拾いやコート整備をしているので練習に一体感が生まれ、積極的に声を出したり、ボールを最後まで追い掛けたりと、向上心を持って練習できています。

現在力を入れているのは、基礎を徹底的に身に付けること。これからも、部内の雰囲気の良い武器に、全員で成長していきたいです。



ボールをよく見てランニングボレー



先輩から後輩にアドバイス



かたせ ひとみ
片瀬 瞳 部長(2年生)

友人に誘われて興味を持ち、中学1年生から始めました。応援してくれる人への感謝の気持ちを忘れずに、みんなで成長していきたいです。

なかまと一緒に

238

「日本の伝統工芸を大切に」

江戸八つ



新しい仲間も増えました



間違えないよう慎重に



組み台にこまを下げて

私たち「江戸八つ」は毎月第2火曜日に八生公民館で活動している組みひものサークルです。

組みひもという言葉は、あまりなじみがないかもしれませんが、その歴史は古く、仏教の伝来とともに中国大陸から日本へ伝わったといわれています。その後、独自の進化と発展を遂げ、現在では仏事・茶事・装飾品など、さまざまな分野で使われていて、高い評価を受けています。

組みひもは、複数の細い糸を斜めに交差させて組むため、柔軟性があります。これが、糸を直角に交差させる織物との違いです。組みひもを作る際は、まず素材となる絹糸を組みひもにセットします。そして、作りたい物の大きさに応じて絹糸の本数・色数を決め、こまという道具に巻き付けていきます。組む作業は、講師の指導を受けながら、テキストも参考にして進めます。順番を間違えないように集中して組んでいき、力加減なども調整しながら美しい作品に仕上げていきます。

組みひもの技法を使って作られた身近な物に帯締めがありますが、私たちのサークルでは、日常生活でも使えるアクセサリーや眼鏡のストラップ、最近ではマスク用のストラップなども作っています。完成した作品は友人にあげることもあり、喜んでもらえた時はとてもうれしく、やりがいを感じます。

日本の伝統工芸である組みひもが、現代の生活にもっと活用されることを願いながら、これからも楽しんで活動していきたいと思えます。

スクスクのびのび



よしだ かり
吉田 湊くん

ニコニコよく笑います。桃や梨、バナナなど果物が大好きです。



ささき そうた
佐々木 颯大くん

食欲旺盛で元気いっぱいな男の子です！



たなべ かずみ
田邊 和美ちゃん

カメラを向けると『はいちーず』と言ってポーズしちゃう娘です♡

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字程度のコメントを郵送またはEメールで広報課へ

○応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課 koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)

○問い合わせ先 広報課 ☎20-1503

502